

高萩・北茨城広域工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

高萩市及び北茨城市は、共に石炭鉱業を基幹産業として発展してきた地域であるが、昭和40年代からの相次ぐ炭鉱の閉山により、人口の激変、地域経済力の低下等の影響を受けたが、その後産炭地域振興事業により積極的な工業団地の造成と企業の適切な誘導、さらには道路網の整備や住宅団地等の諸政策を進めてきたことにより、漸次その成果があがりつつある。

一方、当地域は首都圏から150km圏域にあり、昭和62年度には常磐自動車道の供用開始、あるいは日立市の外延化に伴う受け皿としての新市街地の整備等その発展基盤の整備が着々進められ、茨城県北地域の中核都市として発展が大いに期待されている地域である。

本事業は、これらを背景として茨城県と地域振興整備公団（現・中小企業基盤整備機構）が地方都市の整備と地域振興の立場から両市の工業化を進める上で必要不可欠である工業用水を安定的に供給するために実施する事業である。

○事業の経緯

茨城県が施工する大北川総合開発事業（小山ダム）に水源を求め32,280m³/日の工業用水の確保を図るとともに中郷、南中郷、赤浜各工業団地へ一日最大給水量30,000m³/日を供給するため、平成17年度を目標年次に事業を進め、平成元年10月より中郷工業団地へ一部給水を開始したが、長引く景気低迷や水使用の合理化等により工業用水需要が伸び悩んでいる状況にある中で高萩市及び北茨城市は、「高萩・北茨城広域工業用水道企業団施設整備検討委員会」を設置し、今後の工業水のあり方について検討協議した結果現給水能力である15,000m³/日に計画を変更し事業を実施するとの判断から事業を見直し継続するものである。

○ユーザーの概要

（平成20年9月末現在）

業種	給水件数	契約水量（m ³ /日）
食料品	1	100
化学	6	2,749
機械	1	400
電気	2	2,100
その他	4	1,210
計	14	6,559

○工業用水道施設の概要

高萩・北茨城広域工業用水道事業は、大北川の既設取水堰を利用して、取水口方式により自然流入でφ900mmの導水管にて浄水場へ導水している。浄水場では、急速混和池、フロック形成池、薬品沈でん池で処理され、送水ポンプにて配水池まで送水し、工業団地へ自然流下方式により給水している。

配水管は、口径φ500～100mm延長約5kmで供給を開始している。

○事業の特徴

高萩・北茨城広域工業用水道事業を進めるにあたり高萩市上水道事業の水不足解消のため、新たに水源手当として高萩市地内に建設される小山ダムに水源の確保を求め、取水口から浄水場内沈砂池までを共同施工し、維持管理を実施している。

○高萩・北茨城広域工業用水道企業団

TEL. 0293-43-5531

●一般平面図

